



Pa.O Roof desk パオ ルーフデスク



周囲の視線を遮り、
集中力をしっかりキープ。

隣からの視線を遮り、横並びの席でも作業に専念できるパーソナルエリアを確保します。背面が開放されているので、様子を見守ることが可能です。窓に向けて設置すれば、外の景色を眺めながら作業ができます。

防視
横並びでも視線をカット
周囲の視線が気になりにくく、集中力が持続する空間設計です。

移動
移動も移設もカンタン
キャスター付きで、移設や改装時の移動もスムーズです。

サイズ
サイズもカラーも自由自在
設置する空間に合わせて、サイズやカラーなどカスタマイズが自由自在。

名古屋ショールーム

〒460-0024
愛知県名古屋市中区正木4丁目11番19号
営業時間 平日9:00~17:00(最終受付16:00)
※完全予約制
休館日 土・日・祝日・夏季・年末年始



東京オフィス

〒101-0047
東京都千代田区内神田1-12-3翔和内神田ビル4階
営業時間 平日10:00~17:00(最終受付16:00)
※完全予約制
休館日 土・日・祝日・夏季・年末年始



見学のご予約はこちらから
実際に商品を体感いただけます!



製造販売
タック株式会社 〒460-0024 愛知県名古屋市中区正木4丁目11番19号
https://tac-pao.com TEL. 052-682-3313 Mail. info@tac-pao.com



*本製品のデザイン・仕様は改良などのため、予告なく変更となる場合があります。*本カタログ掲載の画像(製品の色調・意匠など)は実際の商品と異なる場合があります。

発達障害や精神疾患を抱える方へ安心の空間を。

Pa.O Calm down パオ カームダウン



大きな音や雑音、
視覚的な刺激を
カット

気持ちが落ち着く
自分だけの空間に



車椅子への
移乗介助が
スムーズ

ソファで
身体を伸ばして
ほぐす

どこまでも
自由で、
やさしい世界へ。

Pa.O Multi care パオ マルチケア

集団の中においても
集中できる
スペースを確保



Pa.O Roof desk パオ ルーフデスク

Pa.O
Product Series



Pa.O Calm down

パオ カームダウン



日常の刺激をカットし、緊張や興奮を和らげる

精神障害や発達障害を抱える人が、気持ちの高ぶりやパニックが生じたときに、落ち着かせるカームダウンスペースとして活用できます。周囲の視線や騒音、まぶしい光などを和らげ、静かな場所でリラックスしたいときに利用する空間としても最適です。



Pa.O Multi care

パオ マルチケア



車椅子のまま利用できる置くだけで叶うケアルーム

車椅子に乗ったまま利用でき、介助者も一緒に入室可能な大空間のマルチケアルーム。身体障害のある人が着替えたり、周りを気にせず休憩するなど、幅広い用途で活用できます。組み立て式の個室ユニットなので、設置も移設も簡単です。



防視

透明度が切り替えられる小窓

スモーク窓は、特殊なキーを使うことで、透明窓への切り替えが可能。中の様子が確認できます。



吸音

音や声を和らげる吸音効果

吸音パネルが音の反響を軽減し、外部からの大きな音や声によるストレスを低減させます。



カラー

リラックスできるカラー展開

木目を中心に選べる5色展開。カラーのカスタマイズも可能です。



バリアフリー

段差のないフラットな床面

段差をなくし、車椅子でも入退室しやすいバリアフリー仕様です。



サイズ

サイズ調節が可能

設置する空間に合わせて、幅や高さなどのサイズのカスタマイズが可能。



換気

24時間換気でキレイな空間が続く

室内に空気やにおいが溜まり、こもるのを防ぎ、空気をキレイに保ちます。



大空間

自由にワイドなスペース

車椅子のまま利用できるうえ、介助者と一緒に入られるワイドな空間。



バリアフリー

身体が不自由でも利用しやすい

フラットな床面を採用し、車椅子のままでも入退室できるように配慮。



扉

軽い力で開閉可能な折戸タイプ

片折戸タイプの扉は、軽い力でスムーズに開閉することができます。



手すり

手すりの設置

必要な箇所には手すりを設置可能。転倒やつまづきを防ぎ、安全な利用をサポートします。



ソファ

ゆったりくつろげるソファ

ソファを採用し、ゆったりした座り心地で気持ちをリラックスさせます。



換気

24時間換気でキレイな空間が続く

室内に空気やにおいが溜まり、こもるのを防ぎ、空気をキレイに保ちます。

Comments コメント



なかがわ柳通りクリニック
院長
中川 健士 さん

目に見えない障がいを抱える人の暮らしやすさをつくる

発達障害を抱える人は、コミュニケーションが苦手、かんしゃくを起こしやすい、音、光、匂いなどの刺激に弱く、時間管理が苦手、ケアレスミスが多いといった特徴を持ちます。それらのストレスが原因で精神疾患を併発する確率も高いです。最近では、社会に出てから症状が顕在化し、職場環境に適合できずに悩む「大人の発達障害」が聞かれるようになりました。社会で

は、目には見えない障がいを抱えた人が多く働いています。彼らが気持ちを落ち着けるパーソナルスペースは、福祉の現場だけでなく一般企業にこそ必要な空間だと思います。市役所や図書館といった公共施設など不特定多数の方が利用する場所に設置することがおすすめ。この商品が広がっていくことで、誰もが生きやすい社会に変わっていくのではないのでしょうか。

Profile プロフィール

九州大学理学部化学科卒業、医療の道を志し、大分大学医学部医学科を首席で卒業。大分医師会立アルメイダ病院、大分赤十字病院などを経て、なかがわ柳通りクリニックを開院。診療科目は心療内科、一般内科、小児科など。不調を感じた時に気軽に相談できる地域のファミリークリニックを目指す。



一般社団法人
デザイナーズカンパニー
Y.H2020 (ユーツー)
代表
梅本 弥生 さん

障がい者の困りごとを解決するパーソナルスペースを

私たちの事業所では、発達障害や精神疾患を抱える人がアートを仕事にしています。彼らは、大きな音や声で感情やストレスが高まると、パニックが起こって作業が中断してしまうことも。そのため、パニックが起こる前に個室へ移動し、気持ちを落ち着かせてから作業を再開します。周囲の人の動きが目に入らないよう簡易的な仕切りを設置し、視覚刺激によって

集中力が途切れないよう考慮しています。身体障害のある利用者は、筋肉や関節が固まらないように定期的に車椅子から降りて身体をほぐすストレッチが不可欠。その際に、介助者が車椅子の移乗介助ができる広々とした個室の必要性を感じますね。「Pa.O」は、福祉現場の課題を解決し、障がい者たちが自分らしく生きていくきっかけになる商品だと思います。

Profile プロフィール

大分県別府市で子ども向け絵画教室「梅本美術研究所」を運営する傍ら、文化芸術活動を通じて障がい者の社会参加を促す就労継続支援B型事業所「Y.H2020」を設立。創作活動をはじめ、作品展の開催、音楽活動、地域交流などによって、障がい者の個性と能力を発揮、地域の人々の理解促進を図る。